

エコアクション21

環境経営レポート

2023年度

運用期間2023年10月～2024年9月



撮影場所 東京スカイツリー

株式会社 シンケン

2024年 11月25日発行

目 次	・・・1
1 組織の概要	・・・2
1) 事業所名及び代表者名	
2) 所在地	
3) 環境管理責任者及び事務局	
4) 連絡先	
5) 事業活動の内容	
6) 適用事業所範囲	
7) 事業規模	
8) EA-21推進組織図	
2 対象範囲	・・・3
3 環境経営方針	・・・4
4 環境経営目標	・・・5
5 環境経営計画	・・・6
6 環境経営目標の実績	・・・7
7 環境経営計画結果とその評価	・・・8
8 次年度の環境経営目標及び環境経営計画	・・・9
9 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果	・・・11
10 代表者による全体評価と見直しの結果	・・・12

1. 組織の概要

2023シンケン環境経営レポート

1) 事業所名及び代表者名

株式会社 シンケン
代表取締役 西村 直也

2) 所在地

〒880-0211
宮崎県宮崎市佐土原町下田島2153番地

3) 環境管理責任者及び事務局

EA-21 責任者(総務部門担当):大谷 真理
工事部門担当:貴島隆雄

4) 連絡先

連絡担当: 大谷真理 (EA-21事務局)
TEL 0985-73-3939
FAX 0985-73-6330
E-mail :shinken.3939@soleil.ocn.ne.jp

5) 事業活動の内容

建設業 (土木工事業、舗装工事業、とび・土工工事業、水道施設工事業、解体工事業)

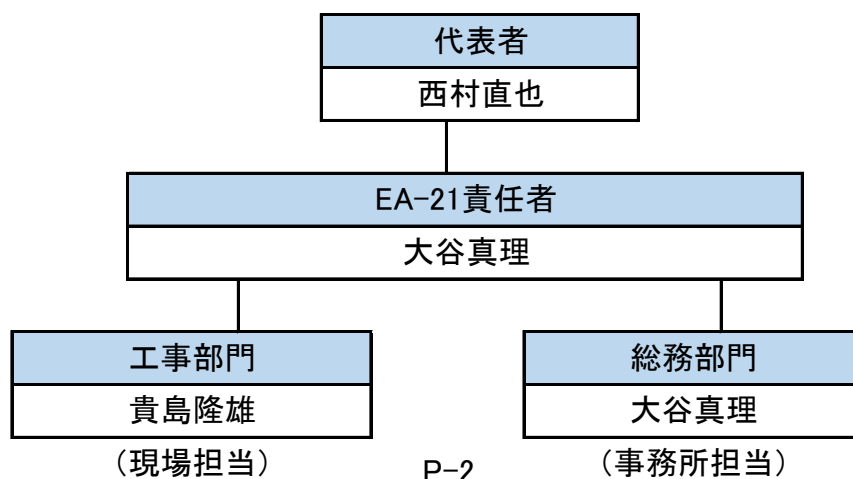
6) 適用事業所範囲

全組織、全活動

7) 事業規模

活動規模	単位	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
工事件数	件	4	13	4	5	4
売上高	百万円	105	102	125	104	141
従業員数	人	6	7	7	7	7
事務所床面積	m ²	26	26	26	26	26

8) EA-21推進組織図



会社全組織・全活動を対象とします。

1) 認証・登録範囲

株式会社 シンケン

- ・事業活動の内容
- ・建設業(土木工事業、舗装工事業、とび・土工工事業、水道施設工事業、解体工事業)

2) 適用事業範囲

- ・適用事業所の所在地
- ・本社: 宮崎県宮崎市佐土原町下田島2153番地

3) レポートの対象期間及び発行日

- ・2023年10月～2024年9月

発行日 2024年11月25日

環境経営方針

株式会社シンケンは、事業活動を通じて地域及び地球環境との調和を図り、豊かな自然を次世代に引き継ぐために次の事項に積極的に取り組みます。

1・ わが社は、電気使用量・化石燃料使用量の節減により二酸化炭素排出量の削減を行います。

2・ 廃棄物の発生抑制及びリサイクルの促進に取り組みます。

○事務所では紙資源の再利用により一般廃棄物の削減

○現場では建設サイクル推進

3・ 節水により排水量の削減に取り組みます。

4・ 地域社会とのコミュニケーションに積極的に参加し地域環境保全に努めます。

5・ 環境に配慮した施工方法、機械の使用を推進します。

6・ 環境関連法規を遵守します。

7・ 社員の資質向上を目指します。

8・ 環境経営システムの継続的改善を実施します。

社員一同は、環境経営方針を深く認識し、8項目の実現に一丸となって取り組みます。

2011年 5 月 7日

2020年 5 月 1日 改定

株式会社 シンケン

代表取締役 西村 直也

4・環境経営目標

2023シンケン環境経営レポート

当社の環境経営目標は、環境負荷の調査結果より以下のような目標を設定しました。

2023年度環境経営目標							
実 数 値 目 標	取組項目	実施区	単位	年 度 別 環 境 目 標			
				基準値 2021年度実績 2021年10月～2022年9月	2022年度 2022年10月～ 2023年9月)	2023年度 2023年10月～ 2024年9月)	2024年度 2024年10月～ 2025年9月)
	1・二酸化炭素排出量の削減	全 体	Kg-CO2	8,645.5	8,559.1	8,965.5	前年度実績－1%
	①電気使用量の削減	事務所	kwh	—	環境経営計画の実施を目標とする		
		現 場	kwh	2,025.0	(-1%)2004.8	(-1%)2930.4	前年度実績－1%
	②ガソリン使用量の削減	事務所	L	—	環境経営計画の実施を目標とする		
		現 場	L	3,402.7	(-1%)3368.7	(-1%)3373.1	前年度実績－1%
	③軽油使用量の削減	現 場	L	—	環境経営計画の実施を目標とする		
	2 廃 棄 物 の 削 減	①一般廃棄物の削減	事務所	Kg	—	環境経営計画の実施を目標とする	
			現 場	Kg			
②産業廃棄物の再資源化率 95%以上維持		現場	%	設計書(施工計画書)通りの廃棄を行う	環境経営計画の実施を目標とする		
3・水資源使用量の削減	全 体	m ³	環境経営計画の実施を目標とする				
4・環境保全の取組推進	全 体	回	積極的にボランティア活動への参加、地域清掃活動等を実施する				
5. 濁水防止 騒音・振動削減 粉じん発生防止	全 体	①土砂、オイル等を川に流出させない ②低騒音・低振動施工に努める ③仮囲い、散水などを施す					
6. 環境教育・訓練の実施	全 体	各業務、各役割に応じて適切な時期に計画的に実施する					
7. 社員の資質向上	全 体	講習には積極的に参加する					
8. 環境経営システムの継続的改善の実施	全 体	P(計画)、D(実施)、C(確認)、A(見直し)サイクルを繰り返す					

- ※ 産業廃棄物(建設副産物)は工事の件数や工種によって大きく左右されるため、「設計書通りの廃棄」
「廃掃法を遵守した廃棄」を行うことを活動目標として取り組んでいきます。
- ※ 使用電力の二酸化炭素排出係数はR5年7月環境省公表の九州電力の0.389Kg-CO2/KWhを使用しています。
- ※ 事務所の電気・水道はグループ会社とメーターが分離しておらず、一般廃棄物はグループ会社と共同で出しており数値が把握できない為、定
性的な目標設定としました。
- ※ 軽油使用量は工事の件数や工種により大きく変動があるため環境経営計画の実施を目標としました。
- ※ 化学物質(PRTR制度対象物質)の使用、購入、保管、移動ともにありません。

二酸化炭素排出量は下記の係数に基づき設定しました。(排出量(kg-CO2)=使用料(A)×排出係数(B))

	排出量(kg-CO2)=	使用量(A)	X	排出係数(B)
購入電力		KWh	0.389	Kg-CO2/kwh
ガソリン		L	2.32	Kg-CO2/MJ
軽油		L	2.58	Kg-CO2/MJ

当年度の活動内容

取組項目		主要な活動内容	推進部	実施期間
1・二酸化炭素排出量の削減	①電気使用量の削減 (総電気使用量)(kwh)	① 不在箇所、昼休みなどの電気消灯の徹底 ② 空調温度管理(設定温度遵守) ③ パソコンのオート電源オフ設定	総務部	① 年間 ② 6～9月・11～3月 ③ 年間
	②ガソリン使用量の削減	① エコドライブの徹底 ・アイドリングストップ、急加速の禁止 ② 効率の良い配車(相乗り、配車スケジュール)	全体	① 年間 ②
	③軽油使用量の削減 (L)	① エコドライブの徹底 ② 車両管理の徹底(運行日誌・定期点検) ③ 重機の定期点検整備の実施	工事部	① 年間 ② 年間 ③
2・廃棄物の削減	①一般廃棄物の削減 (kg)	① 廃棄物の分別の徹底 ② コピー用紙などの節減 ③ 資材梱包材の業者持帰り依頼	全体	① 年間 ② 年間 ③
	②産業廃棄物の再資源化率95%以上維持	① 廃棄物の分別の徹底 ② マニフェストの即時起票 ③ すべての建設副産物は決められた方法で廃棄する(安全パトロールによる確認) ④ 排出先(リサイクル業者)の選定と確認	工事部	① 年間 ② 年間 ③ 年間 ④
3・水資源使用量の削減		① 節水シールの表示 ② 手洗い時の流し水を短くする	総務部	① 年間 ②
4・環境保全の取組推進 (ボランティア活動の実施)		① 事務所周辺の清掃活動 ② 現場周辺の清掃 ③ 地域ボランティア活動参加	総務部	① 随時に実施 ② 随時に実施 ③ 随時に実施
5. 濁水・騒音・振動・粉じん削減		① 土砂、オイル等を川に流出させない ② 低騒音・低振動施工に努める、機械の選定 ③ 仮囲い、散水などを施す	工事部	① 年間 ② 年間 ③
6. 環境教育・訓練の実施		① 各業務・役割に応じ適切に実施する	全体	① 年間
7. 社員の資質向上		① 講習には積極的に参加する	全体	① 年間
8. 環境経営システムの継続的改善の実施		① P(計画)、D(実施)、C(確認)、A、(見直し)サイクルを繰り返す	全体	① 年間

6・環境経営目標の実績

2023シンケン環境経営レポート

目標に対する達成状況は以下の通りです。

- 1・実績値は、2023年度運用期間(10月～9月)で、目標値は2022年10月～2023年9月実績
二酸化炭素の排出量、電気、ガソリン1%削減

取り組み項目 (目標項目)(単位)	実施区	目標	実績	比率	判定
省エネルギー項目	1・二酸化炭素排出量の削減 (kg-CO ₂)	事務所	0.0	115.2%	×
		現場	8,965.5		
		全体	8,965.5		
	①電気使用量の 削減(kwh)	事務所	0.0	149.5%	×
		現場	2,930.4		
		全体	2,930.4		
	②ガソリン使用量の 削減(L)	事務所	0.0	110.2%	×
		現場	3,373.1		
		全体	3,373.1		
	③軽油使用量の 削減(L)	事務所	環境経営計画の実施を目標とする。	—	○
		現場			
		全体			
2・廃棄物の削減	①一般廃棄物の削減(kg)	事務所	計量不可のため環境経営計画の実施を目標とする。	—	○
		現場			
		全体			
	②建設副産物のリサイクル 向上(95%以上)	現場	設計書(施工計画書)通りの廃棄を行う。	100.0%	○
3・水資源使用量の削減		事務所	計量不可のため環境経営計画の実施を目標とする。	—	○
		現場			
		全体			
4・環境保全の取組推進 (ボランティア活動の実施)	全体	15回以上	15回	100.0%	○
5. 濁水防止、騒音・振動削減 粉塵発生防止	現場	環境経営計画の実施を目標とする。		—	○
6. 環境教育・訓練の実施 7. 社員の資質向上 (研修会・講習の受講)	全体	8回	13回	175.0%	○
8. 環境経営システムの継続的 改善の実施	環境経営計画の実施を目標とする。			—	○

※ 使用電力の二酸化炭素排出係数はR5年7月環境省公表の九州電力の0.389Kg-CO₂/KWhを使用しています。

※ 軽油・灯油使用量を含む二酸化炭素総排出量は11,655.96kg-CO₂です。

※ 軽油使用量は工事の件数や工種により大きな変動があるため環境経営計画の実施を目標としました。

取組項目	主要な活動内容	評価		環境活動の取組の結果
電気使用量の削減	① 不在箇所、昼休みなどの電気消灯の徹底	①	○	節電についての意識付けはなされてきている。
	② 空調温度管理(設定温度遵守)	②	○	
	③ パソコンのオート電源オフ設定	③	○	
ガソリン使用量の削減	① エコドライブの徹底(アイドリングストップなど)	①	○	現場へは通勤を兼ねているので相乗りの実施は難しい。アイドリングストップや急発進停止などエコドライブを心がけているが、遠方の現場が多くありガソリン使用量が若干多くなった。
	② 効率の良い配車(相乗り、配車スケジュール)	②	△	
軽油使用量の削減	① エコドライブの徹底	①	○	環境経営計画は遵守している様子である。 機械使用前点検表を活用し異常の早期発見につなげることができた。現場ごとに効率が良い環境に配慮した機種選定を行った。
	② 車両管理の徹底	②	○	
	③ 重機の定期点検整備の実施	③	○	
一般廃棄物の削減	① 廃棄物の分別の徹底	①	○	ゴミ箱に分別標記することによりリサイクルの意識が根付き ごみ減量につながっている 印刷ミスの防止、両面コピーや裏紙の利用で節約 物品納品の際に梱包材の持ち帰りを業者へ依頼しゴミの発生を抑えている。
	② コピー用紙などの節減	②	○	
	③ 資材梱包材の業者持帰り依頼	③	○	
産業廃棄物の再資源化率95%以上維持	① 廃棄物の分別の徹底	①	○	建設副産物の処理及び管理については仕様書通りに処理が行われている(95%以上)
	② マニフェストの即時起票	②	○	
	③ すべての建設副産物は決められた方法で廃棄する(安全パトロールによる確認)	③	○	
	④ 排出先(リサイクル業者)の選定と確認	④	○	
水資源使用量の削減	① 節水シールの表示	①	○	節水については意識付けはなされてきている。
	② 手洗い時の流水を短くする	②	○	
環境ボランティアの取組推進	① 事務所周辺の清掃活動	①	○	会社及び現場周辺の清掃活動や地域ボランティア活動にも参加した。また、こどもおたすけハウス110番活動も引き続き継続していきたい。
	② 現場周辺の清掃	②	○	
	③ 地域ボランティア活動参加	③	○	
騒音・汚濁・粉じん発生の低減取組推進	① 土砂、オイル等を川に流出させない	①	○	工事内容によっては、やむを得ない振動や騒音の発生もあったが事前に近隣住民に周知することにより苦情もなく終了することができた。今後一層、環境へ配慮していきたい。
	② 低騒音・振動施工に努める、機械の選定	②	○	
	③ 仮囲い、散水などを施す	③	○	
・環境教育 ・訓練の実施 ・社員の資質向上	① 各業務・役割に応じ適切に実施する	①	○	受注工事がない期間に積極的に受講するようにしたので次年度も引き続き計画的に受講し環境問題に取り組んでいきたい。
	② 講習、研究会には積極的に参加する	②	○	
環境経営システムの継続的改善の実施	① P(計画)、D(実施)、C(確認)、A(見直し)サイクルを繰り返す	①	○	目標達成状況を3か月ごとに確認・評価しその結果、問題がある場合は原因を取り除き問題の再発を防止するための是正処置を実施した。

8・次年度の環境経営目標及び環境経営計画

2023シンケン環境経営レポート

2023年10月～2025年9月の3か年の環境経営目標と環境経営計画は下記の通りです。

2023年度環境経営目標							
実 数 値 目 標	取組項目	実施区	単位	年 度 別 環 境 目 標			
				基準値 2022年度実績 2022年10月～2023 年9月	2023年度 2023年10月～ 2024年9月)	2024年度 2024年10月～ 2025年9月)	2025年度 2025年10月～ 2026年9月)
	1・二酸化炭素排出量の削減	全 体	Kg-CO2	9,056.1	8,965.5	10,224.1	前年度実績－1%
	①電気使用量の削減	事務所	kwh	－	環境経営計画の実施を目標とする		
		現 場	kwh	2,960.0	(-1%)2930.4	(-1%)4337.2	前年度実績－1%
	②カ'リン使用量の削減	事務所	L	－	環境経営計画の実施を目標とする		
		現 場	L	3,407.2	(-1%)3373.1	(-1%)3678.8	前年度実績－1%
	③軽油使用量の削減	現 場	L	－	環境経営計画の実施を目標とする		
	2 廃 棄 物 の 削 減	①一般廃棄物の削減	事務所	Kg	－	環境経営計画の実施を目標とする	
			現 場	Kg			
②産業廃棄物の再資源化率 95%以上維持		現場	%	設計書(施工計画書) 通りの廃棄を行う			
3・水資源使用量の削減	全 体	m³	環境経営計画の実施を目標とする				
4・環境保全の取組推進	全 体	回	積極的にボランティア活動への参加、地域清掃活動等を実施する				
5. 濁水防止 騒音・振動削減 粉じん発生防止	全 体		①土砂、オイル等を川に流出させない ②低騒音・低振動施工に努める ③仮囲い、散水などを施す				
6. 環境教育・訓練の実施	全 体		各業務、各役割に応じて適切な時期に計画的に実施する				
7. 社員の資質向上	全 体		講習には積極的に参加する				
8. 環境経営システムの継続的改善の実施	全 体		P(計画)、D(実施)、C(確認)、A(見直し)サイクルを繰り返す				

- ※ 産業廃棄物(建設副産物)は工事の件数や工種によって大きく左右されるため、「設計書通りの廃棄」
「廃掃法を遵守した廃棄」を行うことを活動目標として取り組んでいきます。
- ※ 使用電力の二酸化炭素排出係数はR5年7月環境省公表の九州電力の0.389Kg-CO₂/KWhを使用しています。
- ※ 事務所の電気・水道はグループ会社とメーターが分離しておらず、一般廃棄物はグループ会社と共同で出しており数値が把握できない為、定性的な目標設定としました。
- ※ 軽油使用量は工事の件数や工種により大きな変動があるため環境経営計画の実施を目標としました。
- ※ 化学物質(PRTR制度対象物質)の使用、購入、保管、移動ともにありません。

二酸化炭素排出量は下記の係数に基づき設定しました。(排出量(kg-CO₂)=使用料(A)×排出係数(B))

	排出量(kg-CO ₂)=	使用量(A)	X	排出係数(B)
購入電力		KWh	0.389	Kg-CO ₂ /kwh
ガソリン		L	2.32	Kg-CO ₂ /MJ
軽油		L	2.58	Kg-CO ₂ /MJ

次年度の活動内容				
取組項目		主要な活動内容	推進部	実施期間
1・二酸化炭素排出量の削減	①電気使用量の削減 (総電気使用量)(kwh)	① 不在箇所、昼休みなどの電気消灯の徹底 ② 空調温度管理(設定温度遵守) ③ パソコンのオート電源オフ設定	総務部	① 年間 ② 6～9月・11～3月 ③ 年間
	②ガソリン使用量の削減 (L)	① エコドライブの徹底 ・アイドリングストップ、急加速の禁止 ② 効率の良い配車(相乗り、配車スケジュール)	全体	① 全体 ②
	③軽油使用量の削減 (L)	① エコドライブの徹底 ② 車両管理の徹底(運行日誌・定期点検) ③ 重機の定期点検整備の実施	工務部	① ② 年間 ③
2・廃棄物の削減	①一般廃棄物の削減 (kg)	① 廃棄物の分別の徹底 ② コピー用紙などの節減 ③ 資材梱包材の業者持帰り依頼	全体	① ② 年間 ③
	②産業廃棄物の再資源化率95%以上維持	① 廃棄物の分別の徹底 ② マニフェストの即時起票 ③ すべての建設副産物は決められた方法で廃棄する(安全パトロールによる確認) ④ 排出先(リサイクル業者)の選定と確認	工務部	① ② ③ 年間 ④
3・水資源使用量の削減		① 節水シールの表示 ② 手洗い時の流水を短くする	総務部	① 年間 ②
4・環境保全の取組推進 (ボランティア活動の実施)		① 事務所周辺の清掃活動 ② 現場周辺の清掃 ③ 地域ボランティア活動参加	総務部	① 随時に実施 ② 随時に実施 ③ 随時に実施
5. 濁水・騒音・振動・粉じん削減		① 土砂、オイル等を川に流出させない ② 低騒音・低振動施工に努める、機械の選定 ③ 仮囲い、散水などを施す	工務部	① ② 年間 ③
6. 環境教育・訓練の実施		① 各業務・役割に応じ適切に実施する	全体	① 年間
7. 社員の資質向上		① 講習には積極的に参加する	全体	① 年間
8. 環境経営システムの継続的改善の実施		① P(計画)、D(実施)、C(確認)、A、(見直し)サイクルを繰り返す	全体	① 年間

2024年度は、2023年度の活動内容を継続して取り組みます。

9. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無

2023シンケン環境経営レポート

当社に関連する主な法規制は下表のとおりである。
遵守状況確認を毎年3回実施しており、違反はありませんでした。
尚、現場での遵守状況は、月1回の安全パトロールや会議等を通じて、
常に確認しています。
監督官庁からの指摘や地域住民からの訴訟等はありませんでした。

主な環境関連法規等
廃棄物の処理及び清掃に関する法律(廃掃法)
建設リサイクル法
オフロード法
騒音規制法
振動規制法
水質汚濁防止法
河川法
労働安全衛生法
フロン排出抑制法

インプット情報		情報内容・資料等	代表者による評価															
①	環境への負荷の自己チェック結果	2023年度作成の環境負荷チェックにより説明	改善事項である「ガソリン使用量の削減」は前年の実績を基準値として比較した場合一割強の増加ではあった。遠方の現場が長期間に渡りあったことが一因だと考えられる。電力に関しては夏場が大変な酷暑であった為、エアコン使用料増加が要因ではないかと考えられる。熱中症予防等の体調管理面から無理に節電する必要はないが温度設定の遵守、不在時のこまめな電気消灯などに取り組んでもらいたい。 軽油は工事件数や工種によって大きな変動があり数値目標が立てにくいことから実績の管理はしないことになったが定期点検、アイドリングストップ等を心がけ無駄な燃料を消費しないよう努力して頂きたい。 関連法規も遵守されていることを確認した。今後も届出もれや違反がないよう継続をお願いしたい。 ・各現場において重大な苦情、クレームは確認されていないが要望事項は挙がっているので可能な範囲で対応し近隣住民との良好な関係を保つようお願いしたい。 ・ボランティア活動には積極的に参加し、工事の受注がない時期は交代で講習会や研修会に参加すること。															
②	環境への取組の自己チェック結果	2023年度作成の環境への取組チェックにより説明																
③	環境関連法規制等一覧/遵守状況のチェック結果	2023年度作成の環境関連法規のとりまとめの遵守評価により説明																
④	環境経営目標の達成度	1年間(R4年10月～R5年9月)の環境目標実績管理表により説明 <table><tr><th>項 目</th><th>目 標</th><th>実 績</th><th>比率</th></tr><tr><td>二酸化炭素</td><td>8,965.5</td><td>10,327.4</td><td>115.2</td></tr><tr><td>電力 (kwh)</td><td>2,930.4</td><td>4,381.0</td><td>149.5</td></tr><tr><td>ガソリン (ℓ)</td><td>3,373.1</td><td>3,716.0</td><td>110.2</td></tr></table>		項 目	目 標	実 績	比率	二酸化炭素	8,965.5	10,327.4	115.2	電力 (kwh)	2,930.4	4,381.0	149.5	ガソリン (ℓ)	3,373.1	3,716.0
項 目	目 標	実 績	比率															
二酸化炭素	8,965.5	10,327.4	115.2															
電力 (kwh)	2,930.4	4,381.0	149.5															
ガソリン (ℓ)	3,373.1	3,716.0	110.2															
⑤	環境経営計画の実施状況	2023年度作成の環境経営目標・経営計画表兼評価表により説明	①環境経営方針 2020年5月に改定を行ったが補足があれば見直す。															
⑥	教育・訓練実施結果	2023年度作成の環境教育・訓練計画/実施結果により説明	②環境経営目標および環境経営計画 二酸化炭素排出量削減の達成のみならず環境経営計画の取組項目を各自が意識し実践して頂きたい。															
⑦	苦情を含む外部の利害関係者からのコミュニケーション結果	外部環境情報記録表により説明	③実施体制 現行のEA-21推進組織を継続する。															
⑧	緊急事態の準備及び訓練結果	2023年度作成の緊急事態対応策と訓練結果により説明																
⑨	問題点の是正・予防処置の状況	電気使用量、ガソリン使用量が目標値を上回った原因と対策を列挙し削減を全社員に周知徹底した。																
⑩	環境関連文書・記録の作成・整理状況(環境経営レポート含む)	環境文書・環境記録ファイリングで確認(環境経営レポートは、見直し終了後作成)																
次年度への目標		エコアクション21に取り組む意義を理解し社員全員で環境活動に取り組んでいく。																